

## 1 実践の概要

実践学校・園	県立雄物川高等学校
タイトル	避難所設置訓練
実施月日(曜日)	平成24年9月19日(水)
実施場所	秋田県立雄物川高等学校校舎等
想定 場面	授業時間(9:00~12:00) 災害の種類 地震発生後の避難所設置と初期対応を想定
参加者	全校生徒343名、教職員41名、雄物川地域局・雄物川駐在所・雄物川消防団・雄物川火災予防組合連合会・横手市社会福祉協議会(約70名)・保護者5名

## 2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雄物川地域局、雄物川駐在所、雄物川消防団、雄物川火災予防組合連合会、横手市社会福祉協議会の代表者</li> </ul> <p>2 防災訓練当日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地震発生・避難訓練</li> <li>各班代表打ち合わせ</li> <li>避難所開設訓練</li> <li>避難者・ボランティア受入訓練</li> <li>備蓄品・支援物資仕分け訓練</li> <li>給水・応急給食訓練</li> </ol> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会 講師 岩手県釜石市危機管理監 防災危機管理課長 佐々木 亨氏 演題「避難所設置・運営に関して」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体像がつかめず打ち合わせがスムーズに進まなかった。</li> <li>●学校側で準備できるもの(備蓄品、非常食、仮設トイレ、テントなど)が少なく、地域局の方に任せることが多くなるため、何度も地域局に足を運んで打ち合わせをする必要があった。</li> <li>●初めての訓練ということで、職員や生徒に自分の役割や活動内容を理解してもらうのに苦勞した。</li> </ul> <p>○全員が活動できるように、生徒全員に役割を与えた。</p> <p>※班編制について</p> <p>総務班(関係期間への連絡調整、情報収集)、施設設営班(避難所、仮設トイレ、仮設ゴミ置き場、投光機・発電機の設置)、情報提供班(校内案内板作成、校内張り紙作成、被災状況掲示)、避難者対応班(避難者の受付・誘導)、ボランティア班(ボランティア希望者の受付)、物資受入班(食料品・支援物資・備蓄品の運搬、支援物資・備蓄品の仕分け)、給水給食班(炊飯・けんちん汁の炊き出し、配膳)</p> <p>○停電を想定し、トランシーバーを使用して連絡を行った。</p> <p>○炊き出しの炊飯袋や水は実際に横手市で備蓄しているものを使用した。</p> <p>○実際に体験した方から、東日本大震災での避難所の状況を聞くことで、防災に対する意識を高めようとした。</p>

連携先	団体名・組織名	連携の内容
学校・教育関係・同窓会等		
保護者・PTA関係	・保護者	・避難者役
地域組織	・雄物川消防団	・訓練事前打ち合わせ
国・地方公共団体・公共施設	・雄物川地域局 ・雄物川駐在所 ・雄物川火災予防組合連合会 ・横手市社会福祉協議会	・訓練事前打ち合わせ、総務班、施設設営班 ・訓練事前打ち合わせ ・訓練事前打ち合わせ、給水給食班(炊き出し) ・訓練事前打ち合わせ、ボランティア班
企業・産業関係の組合		

### 3 成果と課題

<p><b>成 果</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒が実際に訓練することにより、防災に対する意識が高まった。</li> <li>2 実地訓練により、留意すべき事項や問題点を知ることができた。</li> <li>3 地域局と連携して行うことで、お互いの果たす役割や学校側でできる内容が確認でき、避難所開設における共通のイメージを持つことができた。</li> </ol>
<p><b>課 題</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域住民の参加がほとんど無かったため、より地域を巻き込んだ訓練にすることが必要である。</li> <li>2 学校には備蓄品や投光機等が無いため、地域局から物資が届かない場合の対応について考える必要がある。</li> <li>3 トランシーバー等の情報機器の使い方が分からない職員や受け答えの決まり事が分からない職員がいたため、情報交換がスムーズにいかず苦勞する場面があった。</li> <li>4 職員が学校にいない場合の対応について考える必要がある。</li> <li>5 毎年生徒や職員が代わるため、継続して訓練を行うことが必要である。</li> </ol>
<p><b>今後の継続予定</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 雪が積もっている状況で避難所を設置する場合、屋外を使用できないため校内の使い方を工夫する必要がある。また暖房器具の不足、避難経路の確保等の困難が予想されるため、冬期間に避難所開設訓練を実施することで、課題や問題点を明確にし対策を図りたい。</li> <li>2 情報伝達方法（放送器具やトランシーバーの使い方や受け答えのノウハウなど）を職員で確認したい。</li> </ol>



<給水給食班の活動>



<避難所設置>



<避難者の受付>